

観覧料改定のお知らせ
2019年6月6日(木)より、本館展示観覧料を左記のとおり改定いたしました。なお、特別展観覧料はその都度、別に定めます。何卒、お願い申し上げます。

一般	大学生	高校生以下
580円	250円	無料

各種割引等につきましては、みんなくホームページをご覧ください。

特別展 「驚異と怪異——想像界の生きものたち」
なぜ人類は、この世のキワにいるか。もしない不思議な生きものを思い描き、形にしてきたのか？ 奇妙で怪しい、不気味だけれどかわい、世界の霊獣・幻獣・怪獣が大集合！ 現代のアート・イラスト・漫画家・ゲームデザイナーたちによるクワイチャー制作も紹介し、妖怪やモンスターの源泉にある想像と創造の力を探ります。

会期 11月26日(火)まで
会場 特別展示館

■関連イベント
研究公演
「能と怪異(あやかし)」
能楽師、辰巳満次郎氏とアフリカの仮面結社を研究してきた吉田憲司館長が、異界と現界のはざまに立ち現れる精霊・鬼・霊獣などの存在を具現する面と演者について対談します。

日時 9月29日(日)
12時30分～16時(開場12時)
会場 本館1階エントランスホール
※事前申込不要(当日先着順/定員250名) 参加無料

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル 想像界の奥へ」
第2回
カフェ・ラボ対談
「常ならぬ音」
——見えないものを展示する」
日時 10月8日(火)19時～20時30分
(受付開始18時30分予定)
会場 CAFE Lab(グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル1階)
登壇者 山中由里子(本館教授)
辻邦浩(本館特別客員教授)
※要事前申込(定員50名 中学生以上、要ドリンク代500円)

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル 想像界の奥へ」
第3回
みんなく特別展示ツアー
特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」見学ツアー
実行委員長が特別展の見どころ、裏話を熱く語りながらご案内します。
日時 10月20日(日)11時～12時30分
(受付開始10時30分)
会場 特別展示館ほか
※要事前申込(定員30名 中学生以上、要特別展示観覧券(団体料金))

KAKENHI
ひらめき☆ときめきサイエンスワークショップ
「ミミから生まれる異音獣！ 不思議なケモノはどんな音？ 不思議な音は何に見える？」
「不思議なケモノはどんな音？」
幻獣、怪獣を描いた展示物を観賞したあと、そのイメージを音にします。渡辺亮氏の指導のもとに腐材から楽器を作り、みんな演奏します。視覚に障害のある人も歓迎します。

日時 11月2日(土)
13時30分～16時30分
(受付開始13時)



トウピラク (グリーンランド)

※保護者の方が見学される場合は、特別展示観覧券が必要です。
※8月29日(木)より応募受付開始

企画展
「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年——「みられる私より「みる私」」
片倉もとこ(本館 名誉教授)が半世紀前に撮影した写真を手がかりに、色鮮やかな物質文化からサウジ女性の生活世界の変遷をたどります。

会期 9月10日(火)まで
会場 本館企画展示場



花飾りのついたクフル(顔料)容器

「不思議な音は何に見える？」
渡辺亮氏の演奏を聞き、その不思議な音から想像をふくらませて衣装をつくり変身します。思い思いの異音獣に変身して、みんなで行進します。

日時 11月3日(日・祝)
13時30分～16時10分
(受付開始13時)

講師 渡辺亮(パークシヨニスト)
山中由里子(本館教授)

会場 特別展示館休憩所(地下1階)、特別展示場、特別展示館前、前庭
対象 小学5年生・6年生
※要事前申込(定員各日24名、応募者多数の場合は抽選)、参加無料

●みんなく無料シャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくとの間の直通送迎バスを特別展「驚異と怪異」の会期中に運行します。

運行日 11月26日(火)までの土曜・日曜・祝日
祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 平日、11月2日(土)、3日(日・祝)、4日(月・休)、16日(土)、17日(日)
※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなくセミナー

日時 9月21日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館セミナー室
※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内します。
※申込不要、参加無料
※参加券を12時30分からインフォメーション前(本館1階)にて配布します。

第495回
奴隷交易の世界史——サハラ以南アフリカと世界
講師 鈴木英明(本館助教)



ガーナ・エルミナ城の奴隷留置場

みんなくウィークエンド・サロン

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」を調査している地域/国の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。

9月1日(日)14時30分～15時15分 特別展示館
特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」
話者 山中由里子(本館 教授)

9月8日(日)14時30分～15時30分
本館ナヒひろば、オセアニア展示場
オセアニア/ニューギニアランドへの長い旅路
——オセアニア大航海
話者 ビーター・J・マシウス(本館 教授)

10月6日(日)14時30分～15時 特別展示館
特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」を巡って
話者 笹原亮(本館 教授)
※申込不要、参加無料(要特別展示または展示観覧券)

●無料観覧日のお知らせ
9月14日(土)は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし、特別展の観覧は有料となりますので、ご注意ください。

■西尾 哲夫 訳
『ガラン版 千一夜物語』第1巻

岩波書店 3,500円(税別)

18世紀初頭、フランス人アントワーン・ガランがフランス語に翻訳しベストセラーになった『ガラン版千一夜』を日本で初めて完訳。ガランがいなければ私たちはアラジンも永遠に知らなかった。アラビアンナイトの原点、ファンタジーの源泉が新訳で蘇る。作家の森見登美彦氏推薦！全6冊順次発売。



刊行物紹介
■信田 敏宏 著
『家族の人類学——マレーシア先住民の親族研究から助け合いの人類学へ』
臨川書店 2,800円(税別)

マレーシアの先住民オラン・アスリの歴史を紐解きながら、彼らの親族システムの成り立ちを詳述する。そして、現在の調査村の親族組織とNGOなどの新たな関係性について分析を行なう。人類にとって家族とは何か、親族とは何かを問う試論的書。

友の会

友の会講演会

会場 本館5セミナー室(当日先着順・定員96名)
※会員無料(会員証提示)、一般500円

10月の友の会講演会は第2土曜日に開催します。

第493回 10月12日(土)13時30分～14時40分
「特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」関連」
対談「幻獣——そこに、在る、不思議な生きもの」
話者 湯本豪(妖怪・幻獣研究者)
山中由里子(本館 教授)

人類は、この世のキワにいるかもしれない異形のものや妖怪の類の姿を、心の内に生み出してきました。そのなかには、人魚や河童など、実在すると考えられていた不思議な生きものもいます。こうした幻獣は人びとの好奇心を刺激し、その存在の物的証拠が時に捏造されたりもしました。「物」としての幻獣は崇められたり、薬とされたり、見世物とされてきました。幻獣や妖怪など、不思議を追いかめ、集めてきた湯本豪一さんを招いて、幻獣の世界に分け入ります。

※講演会終了後、話者の案内のもと特別展を見学します(40分/要会員証もしくは特別展示観覧券。湯本さんのコレクションを展示する「驚異の部屋」もお楽しみください。

東京講演会

第127回 9月14日(土)13時30分～14時40分
会場 国立音楽大学7号館2階多目的室(定員60名)
※要事前申込、会員無料(会員証提示)、一般500円

世界の楽器を探る
講師 福岡正太(本館 准教授)

第82回体験セミナー
ものけ怪道をゆく
稲生物怪録と小泉八雲を歩く
日程 10月13日(日)～14日(月・祝)
【申込締切：9月18日(水)】

第94回民族学研修の旅
ひとくくのはじまりを探して
陸路で行くベトナム・ラオス
日程 11月22日(金)～12月2日(月)
【申込締切：10月11日(金)】

